

「日米安全保障研究会」中間報告の発表

アーミテージ元米国務副長官、ハムレCSIS所長、加藤元駐米大使ら、
安全保障に関する日米最高峰の有識者が出席

【開催日時】	7月14日(月) 18時00分～18時45分	
【報道受付】	17時00分～	
【会場】	ホテルオークラ東京 別館2階「オーチャードルーム」(東京都港区虎ノ門2-10-4)	
【言語】	日本語、英語(同時通訳)	
【参加者】	リチャード・アーミテージ	アミテージ・インターナショナル 代表
(五十音順)	マイケル・グリーン	戦略国際問題研究所(CSIS) 上級副所長(アジア)兼ジャパン・チェア
	ジョセフ・ナイ	ハーバード大学ケネディスクール 教授
	ジョン・ハムレ	戦略国際問題研究所(CSIS) 所長
	アロン・フリードバーグ	プリンストン大学 教授
	デニス・ブレア	笹川平和財団米国会長
	岡本行夫	株式会社岡本アソシエイツ 代表
	折木良一	統合幕僚監部 前統合幕僚長
	加藤良三	元在米国日本大使館大使
	田波耕治	株式会社三菱東京UFJ銀行 顧問
	西原 正	一般財団法人平和・安全保障研究所 理事長
	羽生次郎	公益財団法人笹川平和財団 会長

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、公益財団法人笹川平和財団(東京都港区 会長:羽生次郎)は、「日米安全保障研究会」に関する記者会見を7月14日(月)にホテル・オークラ東京で開催します。

笹川平和財団は、米国の戦略国際問題研究所(Center for Strategic and International Studies:CSIS)などと協力し、2013年度に日米安全保障研究会を組織しました。同研究会では、アジア太平洋地域が地域全体の安全保障体制を揺るがす数々の難題に直面していることに鑑み、日米同盟の戦略的展望を議論し、将来にわたる重要性を両国の国民に提示することを目指しています。7月14日の記者会見では、これまでの議論の成果を取りまとめた中間報告を発表します。その後会場からの質疑の時間を設けさせていただきます。

当日発表する中間報告には、安全保障環境認識(中国の戦略評価)、最終報告書作成に向けた研究テーマやロードマップなどが盛り込まれる予定です。ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせの上、ご来場いただきますようお願い申し上げます。

敬具

議事次第: ○中間報告の説明 ○質疑応答

お問い合わせ先:



公益財団法人笹川平和財団 事業部 広報担当(南里・中原)

電話/FAX: 03-6229-5462/ FAX -5473

メール: spfpr@spf.or.jp